

WBGT指数計を活用した、他の事業場のモデルとなる好事例

WBGT指数計を主要職長に配付して熱中症の危険度を作業員に知らせるようにした例 (建設現場における好事例)

ポイント

WBGT指数計 (イメージ)



(注) 実際にこの事例で活用したWBGT指数計とは異なります。

5段階(「ほぼ安全」、「注意」、「警戒」、「**嚴重警戒**」、「**危険**」)の熱中症危険度が表示され、「**危険**」となった場合にはアラートが鳴る機能のWBGT指数計を活用。アラートは高齢者でも聞き取りやすい1 kHzのブザー音で発報。

1. WBGT指数計の活用までの経緯

まだ暑くなる前の初夏の頃、熱中症予防対策を現場責任者と設備業者の常駐担当で検討したところ、WBGT値を常に把握できるように、首にかけられる仕様のWBGT指数計を各職長に配付することとした。

2. 活用した職種

鳶工、鉄骨工、屋根仕上げ工、外装工、左官工、土工、塗装工、外構工、設備工、電工、警備、元請社員。

WBGT指数計を活用した、他の事業場のモデルとなる好事例

3. 作業員からの評判

- ・アラートが鳴ることで、水分補給などの注意喚起を仲間にするきっかけとなった。
- ・ALC（軽量気泡コンクリート）で囲われた箇所はアラートが鳴ることが多かったので、常に熱中症に注意することができた。
- ・湿気が多い場所でもアラートが鳴ったので熱中症に注意することができた。
- ・朝礼看板にWBGT値を掲示することも大事だが、作業場で常に測定し、音で注意喚起できたことはとても有効だと感じた。

4. 少し困ったこと

- ・直射日光が当たるような箇所では常にアラームが鳴りっぱなしになってしまった。
- ・朝礼時、一斉にアラートが鳴り始めてしまうことがあった。

5. 効果

- ・WBGT指数計を活用したこともあり、熱中症の発生ゼロを達成することができた。

6. 今後のWBGT指数計の活用予定

- ・来年も活用したい。
- ・夏季だけでなく、工事内容によって内装改修、ピット内作業でも有効性を検討してみたい。

応募事業場の概要

事業所名 清水建設株式会社千葉支店 工場新築工事